



# 産業廃棄物処理業ヒヤリハット 企業における具体的取組事例

サンエイ株式会社

安全衛生情報では会員各社へ伺い、社内における安全衛生の具体的な取組事例をご紹介します。  
今回ご協力いただきました会員企業は、大正9年「三栄組」設立、平成4年「サンエイ株式会社」に改称。  
令和2年創業100周年を迎え、現在、環境事業部（産業廃棄物処理・処分、環境測定分析、環境整備）をはじめとする  
6つの事業部で事業を展開。

今号では、環境事業部の取締役 神谷則夫氏、次長 高橋信秀氏、総括課課長 田牧孝浩氏、営業課課長 安達  
健太郎氏より安全衛生の取組についてお話を伺いました。

## 2021年～2023年 安全衛生への取組事例

### ◆2021

#### 安全意識の向上及び未然防止活動への取組 過去災害からの問題解決活動

過去の災害事例（凍結した路面で滑り転倒、濡れた床面で滑り転倒）を基に、安全への意識改革を実施しました。

#### 活動計画

作業者の共通心理として、「過去の成功体験から大丈夫だと思った。」とのことから、目の前の危険源を大丈夫と思わず回避する感性の向上活動を計画しました。

#### 対策

##### ①管理的対策

擬似体験をさせる「体感型実技訓練」により、作業者の安全意識向上を図りました。

##### ②物的対策

- 転倒しやすい場所に災害の未然防止を実施しました。
- ・滑りやすい歩行動線→グレーチング、マンホールの蓋に滑り止めを塗布(図1)
- ・段差のある作業動線→出入口、手すりを設置(図2)

#### 活動成果

- ・労働災害発生件数0件
- ・交通事故発生件数4年無事故継続中

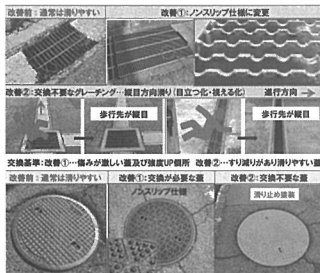


図1 グレーチング、マンホール蓋に滑り止め



図2 段差のある作業の動線に手すり付き出入口を設置

### ◆2022

#### 目線・切り口を変えての安全衛生活動推進 ゼロ災害に向けての課題達成活動

過去の社内及び社外の過去災害にも目を向け取り組みました。

#### 活動計画

廃棄物処理業界の災害を調べ、業界特有のリスク低減推進を狙い「体感型実技訓練」にて“座学”と“体感訓練”を実施しました。

#### 対策

##### ①座学

業態に類似した災害事例教育を行い、受講者への問いかけに重点を置き、リスクへの感性を高めました。

##### ②体感訓練

起きうる災害事例を管理者が手づくりし、現場にて体感しました。(図3、図4)

#### 活動成果

- ・労働災害発生件数2件
- ・交通事故発生件数5年無事故継続中



図3 吸引時ホースの暴れ体感

図4 ごみで転倒しないようごみ上を歩行体感

#### 現在の工場の様子



工場の外観(一部) 150t/日の溶融炉を保有

場内の注意喚起看板



## ◆ 2023

### 危険に対する感性向上による安全確保 前年災害からの問題解決活動

2022年に2件の労働災害を発生させたので、その真因を中心に取り組みました。

#### 発生内容

##### ① 苛性薬傷災害

劣化したホースが吸引時の暴れで破れ、面体の隙間から廃液が入り込み被災

##### ② パレット挟まれ災害

機器が異常停止したため、パレットがずれて異常停止し、復旧する際パレットが落下し被災

##### ① ② 共通事項

災害につながる異常を想定していなかった。

#### 対策

##### ① ホース及び面体に対する対策

ホースカバーを取り付け、面体下にゴーグルを着用するように作業手順を変更しました。(図5)

##### ② 異常停止後安全に復旧する対策

2名作業の徹底、復旧時の道具を設置  
復旧手順の教育と周知徹底を行いました。

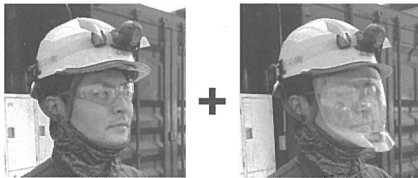
##### ① ② 共通対策

「体感型実技訓練」にて異常事態を発生させて安全と危険の境目を体験しました。

#### 活動成果

- ・労働災害発生件数0件
  - ・交通事故発生件数6年無事故継続中
- ※動画(主にドラレコ)を中心とした模擬体感訓練を実施中  
ゴーグル+面体

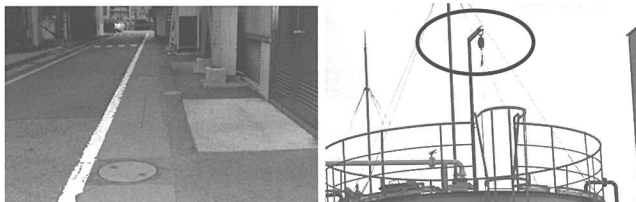
図5 ホースの破れ時の飛散対策



#### 現在の工場の様子



場内各所の階段に両手すりが設置 搬入物が整頓されて並べられている



場内の歩行動線の通路は色が塗られている 場内にある各タンクの上には、ハーネスを固定する吊り具が設置



左から 田牧課長、神谷取締役、高橋次長、安達課長



太陽光パネル(左側)及び環境事業部社屋(右側)の空撮写真

#### 太陽光パネルの仕様

- ・パネル容量 500 kW
- ・PCS容量 350 kW
- ・電力削減量 549,000 kWh/年
- ・CO<sub>2</sub>削減量 207 t-CO<sub>2</sub>/年

## 必見!

事業所内にある作業道具が収納されている棟は全ての道具が一元管理され、何がどこにあり、現在使用中であるかどうか、紛失した場合はすぐに予備を補充、引き出しの中は工具は大きさ順、用途別に並べられ、まるで道具図鑑を開いたような美しい光景でした。

安達課長は「整理整頓こそ、安全衛生への一番の極意でもあります。」と語られました。

また、見学通路の道沿いは徹底した安全対策が随所に施され、滑り止めのマンホールの蓋、ノンスリップのグレーチングは一見して分かるほど目立ち、高齢社員の方への気遣いでもあるとのことでした。

お忙しい中、神谷取締役様、高橋次長様、田牧課長様、安達課長様、安全衛生のプレゼン及びご案内を賜りありがとうございました。

